

## 東福寺跡

神奈川県足柄下郡箱根町 箱根神社境内

明治以前、神仏混淆の箱根権現は金剛王院東福寺を併設していた。更に、親鸞聖人堂があり、ここに聖人が、箱根権現を後にする際、残されていかれた親鸞聖人像（真影）と十字名号が安置されていた。箱根権現は歴代、東福寺の住職が別当として管理をしていた。

ただし、親鸞聖人堂については、日々のお給仕や堂守を、萬福寺の先代住職が勤めていた。何故ならば、かつて萬福寺は東福寺の末寺であったことによる。

明治の廃仏毀釈では、東福寺は廃寺となり、仏教系の堂塔、伽藍をはじめ仏像、財宝のもすべて打ち壊され、火を放たれ消滅した。神仏分離の始末は余りにも厳しく悲劇的であった。



東福寺跡